



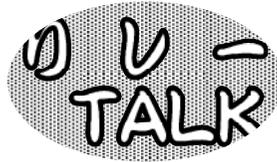
羽間 透 さん

「地域づくりと住民自治研究会」世話人
自治労連北勢自治体一般労働組合
大羽根園自治会防災組織ブロック長
大羽根園ふるさと祭り実行委員
「こもの九条の会」世話人

私は、四日市市役所では、清掃管理課、IT推進課、保険年金課、水道局総務課、農林水産課、地区市民センター（地区公民館）で勤務し、定年後はハローワークの就職支援ナビゲーターを経て、昨年から就職支援セミナー講師をしています。この間ずっと東海自治体問題研究所と東海自治体学校で学んでおり、自治体職員として「地方自治と公務労働を担う者は、住民自治の担い手として、住んでいる地域でも役割を担うべきではないのか」という問題意識が強くなっています。

私が住んでいるのは、四日市市に隣接する菰野町です。水道局に勤務していた20数年前に地元大羽根園の育成会から「太鼓を教えてほしい」と依頼され、子ども太鼓の指導に携わることになりました。新興団地でしたが「子どもにとってはここが『ふるさと』なんだから」と地元自治会に働きかけて「ふるさと祭り」を立ち上げました。水道局の仕事や水道労組執行部の活動と並行して、地元で祭り委員会の会長として諸会議の事項書や報告書をまとめ、新企画を提案したり太鼓教室で指導してきました。途中で地区市民センターに異動し、四日市市職労の専従役員になってからも「ふるさと祭り」と太鼓教室に関わってきました。

この経験は仕事でも生かされました。異動



NO. 7

随想。私と自治体のしごと

地方自治と公務労働を担う者は

住民自治の担い手として

住んでいる地域でも

役割を担うべきではないか

先の地区市民センターで、地区の自治会長や育成会会長に働きかけ、太鼓チームを結成してもらい太鼓指導者になりました。この地区を第2の故郷として、組合活動や人事異動で職場が変わってからも10年間太鼓指導を続けました。その後地区の小学校から太鼓授業の講師を依頼され、小学校が統廃合されるまで4年間太鼓授業を受け持ちました。

定年を控えて新しいことにチャレンジするため、東海自治体問題研究所の「地域づくりと住民自治研究会」が平成21年2月に開催した地域づくりシンポジウムに参加しました。現役時代に東海自治体学校で出会ったことがある人たちもいて、定年退職後はこの研究会の世話人会に出席するようになりました。

これ以降、東海自治体学校で研究会が受け持っている「地域づくり分科会」の運営に携わっています。研究会の例会や分科会では、私が地元自治会の取り組みを紹介したり、自治会の防災担当副会長や地元で小地域福祉活動「地域の茶の間」に取り組んでいる方に依頼して、例会や分科会でレポートをしてもらったこともあります。地元の地域づくりと住民自治を進めるためにも、東海自治体問題研究所との懸け橋の役割が果たせたらと思っています。